

奈良教育大学

文科・文美棟（研究棟）

改修竣工披露式を挙行

広報室



奈良教育大学では、教育研究活動の充実と学生の勉学のための支援体制の強化と福利厚生者の充実・拡充を図るため、文科棟、文美棟の二つの研究棟を改修しました。

これらの研究棟は、昭和四十四年に建築されたもので、三十二年

を経過した研

究棟の改修第一期工事とし

て、平成十二

年度の講義棟

改修に引き続

き進められて

いましたが、

このたび工事

が竣工し、平

成十三年十月

二日に、竣工

披露式が挙行

されました。



エントランスホール前でのテープカット（写真左から原事務局長、柳澤副学長、大久保学長、松村附属図書館長、北教授）

た。式典終了後には学内関係者に対しての施設見学も行われました。

完成した文科棟・文美棟は、外

観はシックで落ち着いた薄茶

色を基調としており、教官研究室は、

新しい教育体制に適正な施設整備

を図るため、静かで落ち着いた研

究環境を優先し

て全て個室とし

ています。

棟内の概要

改修された棟

内には、教官の

学際的な研究交

流の推進を図る

ための「教育・

研究交流スペー

ス」、講座の枠

を越えた学内共

有施設であると

ともに、大学と地域の共同研究ス

ペースとしても利用できる「共同

実験・演習室及び共同演習室」、

学生のためのリフレッシュコーナ

ーを設け、自動販売機、カード式

コピー機等

を配置し

た「学生オ

フィス」学

内ＩＴ化推

進を図るた

めの情報メ

ディア関連

機器を配備

し、学内研

究施設であ

る情報処理

センターの

分室とな

る「情報サ

テライト

室」等が新

たに設けら

れました。

より開放的な教育環境に向けて

新しく設けられたエントランス

ホールでは、既にあった旧文科棟・

文美棟の玄関周辺をリニューアルし、

明るく、開放的なイメージとする

ため、二階吹き抜けとしたガラス



のカーテンウォールで構成され、既設物とのコントラストをつけ、建物内へと意識するように工夫されています。同時に、点字表示を備えた総案内板を設置し、既設

建物のトイレ配置を見直し、手すりの位置や光感知式の水洗を設けた洗面台の設置など、外来者を含めて利用者の実態に合わせた機能的な構造となっています。

また、全棟においてバリアフリーを徹底し、自動扉や移動用アプローチを設け、廊下やトイレの照明についても光感知式による省エネルギー対策を実施し、建物内での分煙も実施しています。

講義棟・研究棟のリニューアルによる快適な学習環境や研究環境の創出を契機として、魅力ある活発な教育研究活動が行われ、地域と大学との連携が発展するよう期待されています。